

アロハなまち「IBUSUKI」

いぶすき 指宿市長(鹿児島県) **とよどめえつお 豊留悦男**



おもてなしの街「いぶすき」

「明るい南国のイメージと観光客を温かく迎えるアロハ精神を高めるとともに、エコファッション推進のため、指宿市民は、本日から10月までユニフォームとしてアロハ・ムーミーを着用することを宣言する。毎年4月29日に行う「アロハ宣言」です。

本市では、昭和50年からアロハ・ムーミーを着用し、東洋のハワイとして全国的にPRしてきました。

この間、私は「アロハ」と挨拶するように心掛けています。

16回を数える「いぶすきフラフェスティバル」には、国内外から、延べ3000人



観光特急「指宿のたまて箱」に旗を振る市職員

を超える愛好者が参加し、街中がハワイムード一色になります。

イベントのエンディングで歌われる「ハワイ・アロハ」は、私たちが忘れかけていた大切な事を教えてくれます。

アロハ精神を大切にしたい観光振興

アロハとは、全てを受け入れる「心」や「精神」であり「思いやり」「尊敬」「愛」をもって人に接する事を意味します。

アルファベットで表記すると「A・L・O・H・A」となりますが、それぞれの文字には意味があります。Aは思いやり、Lは協調性、Oは喜び、Hは謙虚、素直な心、最後のAは忍耐を表しています。

「思いやりと素直な心」をもって、他者に感謝し、慈悲と愛情を与え、幸福を分かち合う心がアロハ精神にはあります。

私が、アロハと挨拶する理由は他にもあります。いろいろな悩みや課題を抱えて立ち止まってしまった時、ハワイの言葉に込められたハワイアンの心に学び、日々の生活に強さと癒やしを取り入れて生活したいからです。

「行きたければ自信を持って行きなさい。来たければ、やりたければためらわないで」というメッセージも込められています。

ここから、「望むことが決まっているならば、実現に向かって進もう。願い事は待っていてはやって来ない」という意味も

あります。

その言葉には決意と誇り、温かさが詰まっています、ハワイが人々を魅了させている理由がそこにはあります。「こんにちは」より「アロハ」が、観光都市指宿には似合います。

薩摩が日本にもたらしたもの

明治維新を起こした人材は「郷中教育*」によって教育されました。(※薩摩藩特有の青少年教育)

地域で学び、地域で育つ。西郷隆盛も大久保利通も鍛冶屋町という同じ郷中(地域)で育っています。

年長者が年下を鍛え、先輩を敬い、後輩



「いぶすき菜の花マラソン」で一斉にスタートを切るランナー



アロハ宣言書を掲げる市長(写真中央)

観光資源を最大限に生かすために、歴史的な背景や景観の保護には伝統的に力を入れてきました。

九州新幹線鹿児島ルート全線開業に合わせて、「指宿のたまたま箱」という観光列車が指宿にやってきました。市の職員が黄色い旗を振る光景は訪れる人に感動を与えています。

砂むし温泉、開聞岳、池田湖、長崎鼻、鰻池等々、指宿の誇る観光スポットです。

を育てる薩摩の教育は、維新の偉人たちにも非常に大きな影響を与えました。こうした人物が育つ素地があったから、薩摩の人々が日本を動かしたのです。

海と共に生き、黒潮に乗ってもたらされてきた産業や文化を受け継ぐことは大切なことです。豊かな自然、歴史、文化、気候、産業などを生かし、さらなる発展を目指しています。

縁結びの島「知林ヶ島」は、一定時期・干潮時間にしか渡れない島です。砂州（ちりりんロード）を渡るカップルの願いが叶うパワースポットになっています。

世界に誇れる観光都市を目指して

菜の花が咲き誇り池田湖、開聞岳、知林ヶ島など故郷の風景が早春の光に輝いています。

「走春の絆」を合言葉に開かれる「いぶすき菜の花マラソン」は39回を迎えました。今回も約1万2000人のランナーが、日本が一番早く開催される（1月第2日曜日、12日開催）マラソンに参加してくれました。顔なじみのランナーを見つけ、飲み物、食べ物差し出す光景は、コースの菜の花とともに本市の誇り「おもてなし」です。

沿道の温かな声援と市民のおもてなしが、参加者に感動を与え、毎回多くのリピーターが参加してくれています。

健康で長生きするために

本市は、美しい海や山、豊富な食、心身を癒やしてくれる温泉など、健康であるための環境が整っています。

スマートウエルネスシティ（SWC）構想に取り組み、健康で幸せに暮らすことができます。「健幸都市」を目指しています。



健康づくりの一環「アロハ健康ウォーク」

大学と連携し、食材や温泉の効能を検証した生活習慣病の予防に取り組み、砂むし温泉や豊富な食の健康に関する科学的データに基づいた健幸のまちづくり事業を、他自治体や民間企業、大学等と連携して展開しています。

自らも、朝の血圧測定、ラジオ体操、筋トレ、観光列車「指宿のたまたま箱」への旗振り時のウォーキングと健幸生活に心掛け、今では生活の一部として定着しています。

温泉と指宿ブランドのオクラ等の食材は健康づくりの重要な要素です。温泉、サウナ、水風呂後の一杯の芋焼酎は、今日の疲れを癒やし明日への活力を与えてくれます。私にとって、一杯の芋焼酎の味は健康のバロメーターです。

「健幸であることは社会貢献である」。今日も歩数計を確認しながら歩いていきます。豊かな資源が織りなす食と健幸のまち「IBUSUKI」の市民の務めと自覚しながら・・・。